

緑豊かな生活環境を

計画的な町営住宅建設

夕餉の煙と親子の談笑——。これは古今東西にわたる『家庭のしあわせ』を表わす牧歌的な生活詩です。

あたたかな家庭の雰囲気は充実した、いまの生活のパロメーターだけでなく、つぎの世代にならう人々の健全な成長のために、より豊かでなければならぬものです。

「人がそこに住み、そこで暮しをする」ということは、なものにもかえがたいものである。その環境の整備は当面する行政の重要な課題として、その条件整備のために鋭意努力を傾注しているところです。

本町では「しあわせな家庭づくり」のために、すべての人々に恵まれた環境のなかの住宅をということで、昭和四十八年度を初年度として五ヶ年計画で塩口北野地区に二〇八戸の町営住宅の団地づくりをめざしております。今年度は第一種住宅が二十四戸、第二種住宅が二十四戸の計四十八戸の住宅建設をすすめております。

住宅団地づくりは、そこに家を建てればよいということだけではありません。道路、排水、水道、街区など将来、多くの人々がそこに住み、コミュニティ活動をすすめるうえで問題点を残さないような配慮が大切です。そのために、子どもの遊び場や

駐車場、集会所用地の確保などを中心に公共的な施設設備の完備をめざして充分な意を用いております。

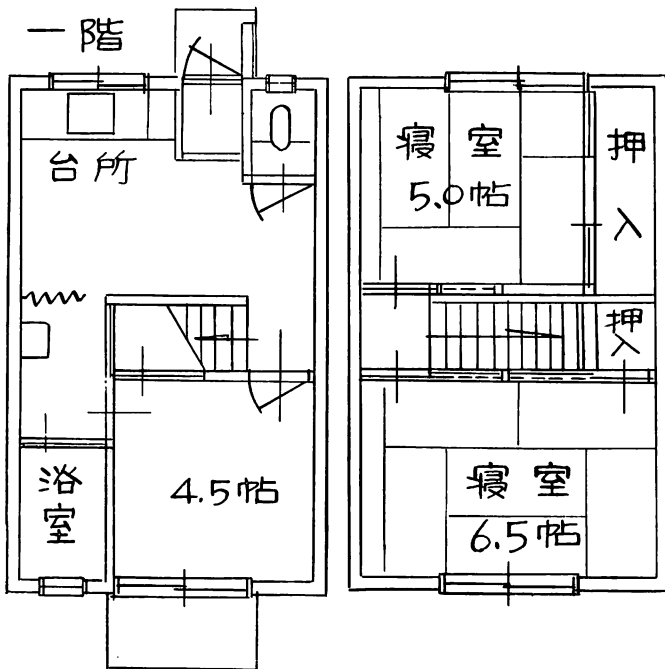
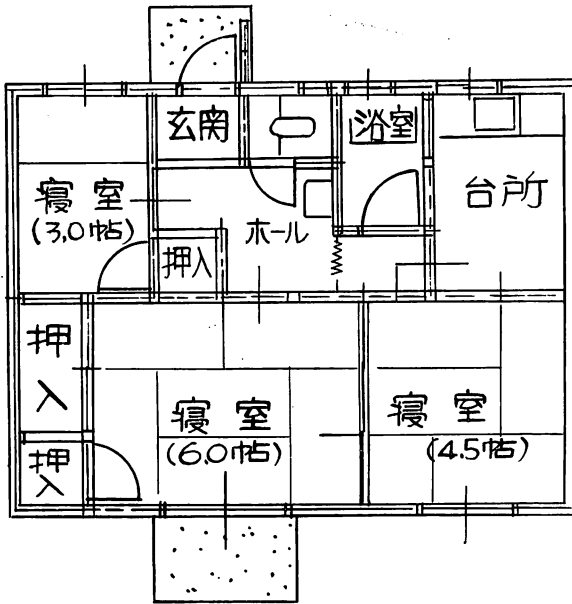
団地づくりは「ふるさとづくり」でもあります。ふるさとは人々の心を育てるものであるから、鮮やかな緑と澄んだ空ときれいな水の豊かな環境でありたいものです。そのような環境をつくり、守り、育てあげることが行政の、そしてそこに住んでいるすべての人々の責任であるという考えかたにたつて、秩序のある長期的な展望にたつた団地形成をめざしております。団地の外周には松やプラタナス、改良ヤマナシなどの植栽をするとともに、各戸には生垣をもうけるなどして、緑の豊かな生活環境づくりに配慮しております。

家庭は明日へのエネルギーの再創造の場であるといわれま。それが豊かに行われれば、おこなわれるほど生活の充実感が高まります。そのような豊かさにはぐくまれるような環境づくりこそ大切です。「だれでもが住んでみたくなるような団地」そして「住んでみて、本当によかったと思うような団地」づくりのために、団地全体のレイアウトをしてあるとともに、住宅そのものの設計にも標準的な家族構成で快適に生活することのできるように、従来の住宅と違った観点から工夫をこらしてあります。

二田新町の町営住宅は補修に意を用いているものの、昭和三十三年から建設されたもので老朽化している。現在の入居者で環境のよい新住宅に入居替えを希望される方々については優先的に考えるとともに、入居替えによって空家になったところには原則として新たな入居は行わない考えであります。

家賃は8千円と6千5百円

申し込みは1月20日まで



住宅の構造はブロック造りで第一種は二階建て、第二種は平家建てです。第一種は一階が居間・五畳、台所四畳と浴室で二階は六・五畳と五畳の二室、第二種は台所が三畳、部屋は六畳、四・五畳、三畳の三室に浴室があります。従来の住宅に比べて、浴室や部屋数、内装などの質と美しさにおいて工夫がこらされており、台所もステンレス張りの使いやすいものを使用しており、標準的な家族構成で楽しく生活できるように配慮しております。

家賃は第一種が八、〇〇〇円第二種が六、五〇〇円です。家賃は償却費や損害保険料、地代相当額などを基礎にして算定することになっておりますが、それで算出された額(限度額)は第一種が二一、四〇九円、第二種が一〇、四四八円になります。しかし、入居される方々の

いろいろな条件を勘案して、議会の意向をきいて、八、〇〇〇円と六、五〇〇円に決定したものです。

建設工事は最後の仕上げの段階にはいっておりますが、入居申し込みメ切りは、一月二十日になっております。申し込みメ切後に抽選で入居者を決定することになりますので、期日は厳守してください。

申し込み用紙などは、役場建設課住宅係にあります。

二田新町の住宅入居者で、新しい住宅に入居替えを希望される方は、別に役場から文書が配布になった際に、優遇措置などの条件を充分検討されて、期日まで入居申し込みをされるよう努めてください。全体のバランスをみて、優先的な配慮をすることにしております。

詳細についてのお問い合わせは建設課住宅係まで。

この住宅に入居できる方は、まず、現在、いっしょに住もうとしているか、いっしょに住もうとしている親族がいることで、婚姻の予約をしている方も対象となります。

また、現在、住宅に困っていることが明らかな方と町内に居住しているか勤務している方も対象となります。

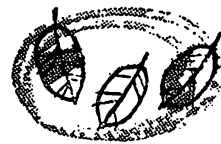
収入の面でも基準があり、別表のように区分されますが、扶養親族がいけない場合に、第一種に入居できる方は、月額八五、九九九円以下で、第二種は五〇

資格は町内に

居住か勤務

二月上旬に入居予定

九九九円以下の収入で、標準世帯とされている扶養親族三人に



収入基準表 年収()内は月収

種別	収入基準	扶養親族				
		0人	1人	2人	3人	4人
第一種 住宅	58,000円以下	1,031,999 (85,999)	1,181,999 (98,499)	1,331,999 (110,999)	1,481,999 (123,499)	1,631,999 (135,999)
第二種 住宅	38,000円以下	611,999 (50,999)	761,999 (63,499)	911,999 (75,999)	1,061,999 (88,499)	1,211,999 (100,999)

なると、第一種は月額二二三、九九九円以下、第二種は八八、九九九円以下の収入の世帯に限られます。あとは、扶養親族数に応じて収入限度額もかわってきますので、別表を参考にしてください。

入居していただく時期は、二月上旬を予定して準備をすすめていますが、入居者が決定したときに、あらためてご連絡することになっております。

◎◎◎◎◎ マイホームづくりへの夢

分譲宅地の造成を計画

恵まれた環境のなかに、庭つきの家を——というのがマイホームづくりを託している多くの人の切実で、美しいねがいです。この庶民のねがいは、夢も地価の上昇や建築資材の高騰などの経済情勢の変化によって実現への道はきびしさを増してきております。

このような社会情勢のなかにあって、マイホームづくりへの夢をたくましく育てあげる本町の行政施策が、いますすめられております。それは羽立北野地区に総面積一八、四二〇平方メートル、一区画、四三〇平方メートルで、公共的な施設設備の完備した分譲宅地の造成計画です。

その位置は五カ年計画で建設中の羽立北野地区にあり、大規模工業開発地帯の中心的な背後地としての予測のもとで、近く指定をうけるであろう農振地域などに十分な配慮をしながら、長期的な展望にたつて都市の整備計画を検討しております。

秩序ある宅地造成を

本町は秋田湾地区大規模工業開発地帯の中心的な背後地としての予測のもとで、近く指定をうけるであろう農振地域などに十分な配慮をしながら、長期的な展望にたつて都市の整備計画を検討しております。

本町は活気にあふれ、自然環境に恵まれた住宅都市としての機能が一層強まってくることが予想されますが、秩序のある

をすすめている町営住宅団地と近接しているところであり、いろいろな観点からみて、環境に恵まれているところです。分譲宅地条例などの基本的なことにしている段階ですので、具体的には、議会で継続審議を要する段階で、マイホームづくりの夢をもつ人々への朗報の概要はつぎのとおりです。

住民の生きがいを育てる行政の展開

分譲予定区画は一八一区画であり、団地内には約四〇〇平方メートルの運動公園、約七〇〇平方メートルの運動場、公民館分館敷地、消防器具置場用

この協議要綱は単なる規制が目的ではなく、むしろ宅地造成に将来の展望をもった秩序をもたせ、住みよい集落形成をはかろうとするものです。お問い合わせは天王町役場企画室へ。

地価の上昇は健全な市街地の形成やそこに住む人々の将来への影響があるもので、行政の先行投資による計画的な分譲宅地の造成は、住民の健全な暮らしをささえるうえで大切な施策であり、それだけに多くの人の関心をあつめ、期待されているところであると思われま

この分譲計画は用地の取得を終えて、整地工事の段階をむかえているところであり、譲渡条件や販売価格などについてはまだ決まっていないが、タイムスケジュールからいって、具体的な分譲作業は昭和四十九年度下期になるのではないかと想定されています。

分譲は来年度下期の予定

この分譲計画は用地の取得を終えて、整地工事の段階をむかえているところであり、譲渡条件や販売価格などについてはまだ決まっていないが、タイムスケジュールからいって、具体的な分譲作業は昭和四十九年度下期になるのではないかと想定されています。

手続きなどが確定しますと広報紙、その他の方法で、広く住民の方々のご理解をいただいて「ふるさと」あわせづくりの施策をすすめてまいります。

おわび

十二月一日付の第一二五号の広報でんのうの一面で、臨時町議会をとりあつた記事、リードのところで「十二月七日に閉会した」とあります。これは「十一月七日」の誤りです。訂正しておわびを申しあげます。

